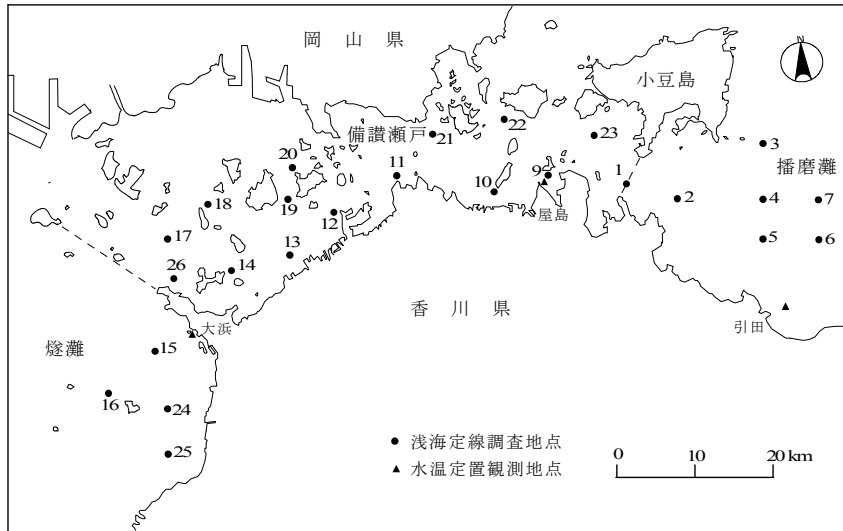


香川県漁海況速報 平成22年5月 (H22-2号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成22年5月6日（備讃瀬戸，燧灘），7日（播磨灘）

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温及び塩分は「やや低めからかなり高め」、透明度は「平年並み」、溶存酸素は「平年並みからかなり高め」であった。

5月

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	13.8	13.2	12.2	31.9	32.0	32.1	7.1	6.00	5.79
	平年値	14.1	13.2	12.1	32.2	32.3	32.4	8.4	6.06	5.43
	平年偏差	-0.3	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.58	0.58
	標準偏差(σ)	0.9	0.7	0.7	0.5	0.5	0.5	2.3	0.42	0.43
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	平年並み	やや低め	平年並み	平年並み	やや高め
備讃瀬戸	14地点平均値	14.0	13.7	13.6	31.9	32.0	32.0	6.0	5.87	5.91
	平年値	14.1	13.8	13.7	32.5	32.5	32.5	5.7	5.64	5.59
	平年偏差	-0.1	-0.1	-0.1	-0.6	-0.5	-0.5	0.3	0.23	0.32
	標準偏差(σ)	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	1.3	0.37	0.35
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	やや低め	やや低め	平年並み	やや高め	やや高め
燧灘	4地点平均値	17.2	13.4	12.8	32.4	32.7	32.9	9.1	6.14	5.77
	平年値	15.6	13.6	12.6	32.8	32.9	33.1	10.3	5.73	5.17
	平年偏差	1.6	-0.2	0.2	-0.4	-0.2	-0.2	-1.2	0.41	0.60
	標準偏差(σ)	1.2	0.8	0.8	0.5	0.5	0.5	2.5	0.37	0.42
	状況	かなり高め	平年並み	平年並み	やや低め	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	かなり高め

平年偏差＝平均値－平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和48年（1973）1月～平成13年（2002）12月

溶存酸素：昭和48年（1973）2月～平成13年（2002）12月

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ ：標準偏差)

やや高め（やや低め） $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め（かなり低め） $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め（著しく低め） $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

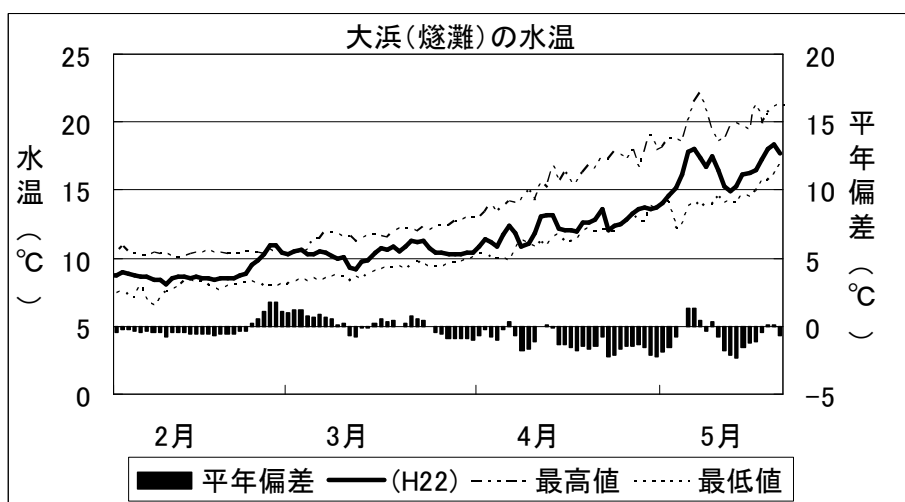
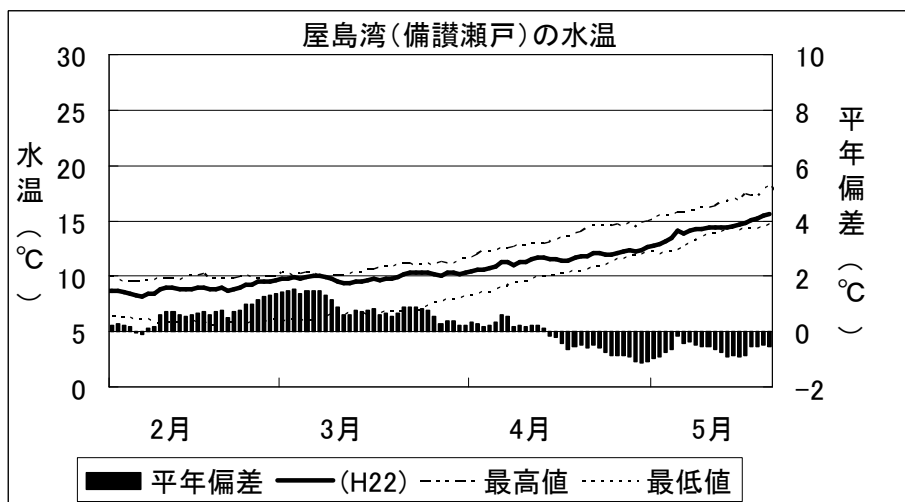
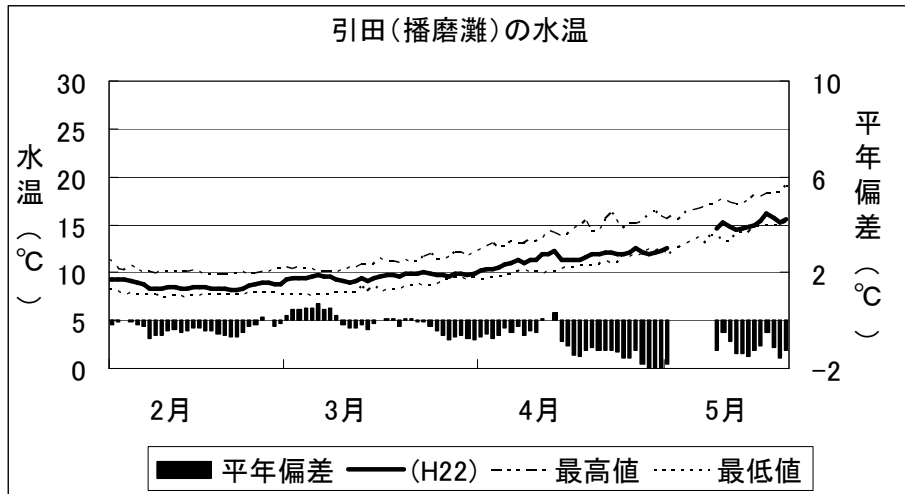
3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 2月は平年並みからやや低め, 3月はやや高めからやや低め, 4月は平年並みから著しく低め, 5月はかなり低めで推移している。

備讃瀬戸 (屋島) : 2月は平年並みからかなり高め, 3月はかなり高めから平年並み, 4月は平年並みからかなり低め, 5月は概ねやや低めで推移している。

燧灘 (大浜) : 2月はやや低めから著しく高め, 3月はかなり高めからかなり低め, 4月はやや低めからかなり低め, 5月は概ねやや低めで推移している。(2月末から3月初めに最高値を更新。4月初旬と下旬に過去最低値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~ 平成 21 (2009) 年
屋島 : 昭和 50 (1975) ~ 平成 21 (2009) 年



4) 赤潮 (4月20日～5月24日)

播磨灘：西部海域において4月21日に *Noctiluca scintillans* による赤潮が、5月15日に *Eutreptiella* sp. による赤潮が、17日に *Eutreptiella* sp. および *Noctiluca scintillans* による赤潮が、18日に *Gymnodinium* sp. および *Noctiluca scintillans* による赤潮が認められた。南部海域において5月18日に *Noctiluca scintillans* による赤潮が認められた。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：発生なし。

5) 卵稚仔

調査日：平成22年5月6日 (備讃瀬戸, 燧灘), 7日 (播磨灘)

出現量

		カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.3
	平年値	12.6	1.3	3.0	0.1				
	対平年(%)	23	0	0	0				
備讃瀬戸	平均値	16.4	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	24.2	2.6
	平年値	1.2	0.3	0.2	0.2				
	対平年(%)	1,345	977	0	0				
燧灘	平均値	204.9	23.6	0.0	0.0	0.0	0.0	45.4	8.7
	平年値	46.5	3.1	1.2	0.8				
	対平年(%)	441	756	0	0				
総平均	平均値	56.8	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1	3.4
	平年値	29.5	2.4	1.2	0.3				
	対平年(%)	192	285	0	0				

－：平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

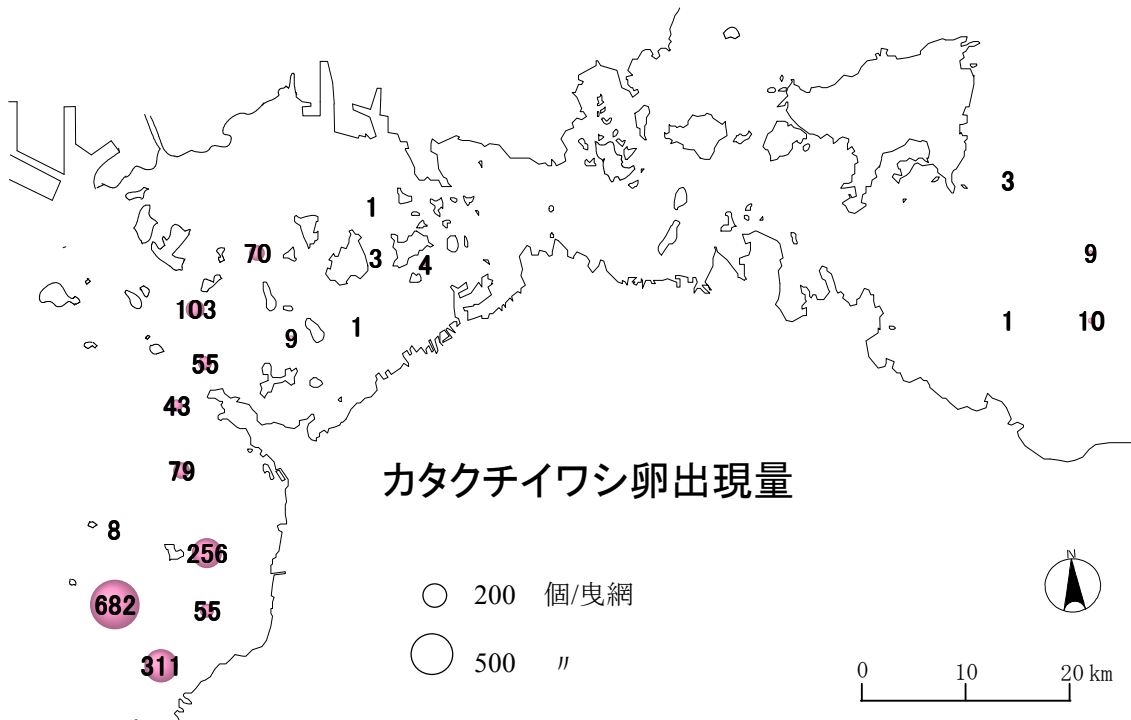
平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55年(1980)～平成21年(2009)年度

マイワシ：平成5年(1993)～平成21年(2009)年度

イカナゴ：平成7年(1993)～平成21年(2009)年度

各調査点でのカタクチイワシ卵の出現状況は、次のとおりである。



2. 漁況

4月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では主にウシノシタ類，メイタガレイ，マダイ，マアナゴ，オニオコゼ，クロダイ，ナシフグ，スズキ，ネズッコ類，小エビ類，マダコ，コウイカ，マツイカ（小型のスルメイカ），ジンドウイカ，アカニシが漁獲されている。概ね前年並みの漁獲状況であるが，オニオコゼは好調，ウシノシタ類は低調である。</p> <p>建網では主にセイゴ，アイナメ，カサゴが漁獲されているが，カサゴは低調である。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にマダイ，クロダイ，メイタガレイ，ウシノシタ類，マアナゴ，マダコ，アカニシが漁獲されている。</p> <p>建網では主に，マダイ，クロダイ，スズキ，メバルが漁獲されている。</p> <p>高松・庵治沖のイカナゴ込網による4月のシンコ漁獲量は802トンで，平年同期（過去10年平均：422トン）の約2倍と好調である。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主にマダイ，クロダイ，ネズッコ類，フグ類，メイタガレイ，コウイカ，小エビ類が漁獲されている。</p> <p>柵網では主にマダイ，クロダイ，コウイカ，ウマヅラハギ，ヒラメが漁獲されている。</p> <p>さより機船船びき網の漁獲量は200kg/日・統と好調である。</p>
香 川 県 全 域	<p>さわら流し刺し網は4月20日または25日から操業が開始されており，サワラ類の4月の漁獲量は前年を上回っている。</p>